

地域の協力で主催する子ども向け自主学習教室 ～スポーツも勉強もどちらも出来る子どもを育てたい!～ (りふスポーツクラブ“スポメイトりふ”・宮城県利府町)

1. スポーツも勉強もどちらも出来る子どもを育てたい

5月下旬、金曜日の夜7時、利府町総合体育館に隣接する勤労青少年ホームの研修室に子どもたちが集まってきました。今日は小学2年生から5年生までの8名参加です。りふスポーツクラブの愛称“スポメイトりふ”の自主学習教室の始まりです!

“スポメイトりふ”は設立時に、子どもにとってスポーツだけでいいのか、運動も勉強も両立を目指すことが大切ではないか、どちらも出来る子どもを育てたいとの願いから、クラブ設立と同時に自主学習教室を開催しています。現在、この教室の会員は20名です。地元の塾講師にも協力してもらうなど、地元新聞等にも取り上げられています。

2. 自主学習教室の仕組みは環境づくりから

「机と椅子を準備しましょう、準備が終わったら白板に名前と時間と内容を書きましょう」。指導者である町内在住の中学校教諭の田中靖子さんが子どもたちに声をかけます。田中さんは自主学習教室の生みの親の一人で、無償のボランティアで活動しています。子どもたちはそれぞれ白板に名前と学習時間の目標を書き込み、机に戻って自主学習を始めます。白板には、30分目標の子ども、1時間の子どもと、様々です。

月2回、子どもたちが持参した算数や国語の教材を学習し、指導者が勉強の仕方や分からない箇所を教える仕組みです。

田中さんによれば、「まずは勉強する環境づくりから。机とイスを自分たちで整えることから始まりです。次に自ら目標を立てて取り組ませ、分からないことは質問させるなど自ら進んで学習する力を育てています」と自学自習を基本として指導しているとのこと。



3. 指導者はあくまでサポート役

「指導者はあくまでサポート役です」と田中さん。子どもたちが次々に学習帳を持参すると、田中さんは点検し大きな丸をつけ「よくできたね、すごいね」と励まし、質問に答えていました。

結局、30分予定の子どもも夜8時まで1時間しっかり自学自習に打ち込み、最後に子どもたちはご褒美のスナック菓子を受け取り、机と椅子をもとに戻してから、あいさつをして帰途につきました。利府町の子どもたちは、“スポメイトりふ”を通して、スポーツにも勉強にも元氣一杯に頑張っています。



(相田恵美 宮城県クラブ育成アドバイザー)

【りふスポーツクラブ“スポメイトりふ” プロフィール】

1. 設立

設立年:平成20年9月

経緯:町体育協会有志により、明るく豊かで活気に満ち溢れる地域社会の実現のため設立

2. 地域

人口:利府町33,557人

特性:振興ベッドタウン, 商業集積地

3. クラブ

会員数:136名 予算規模:147万円(補助金, 会費, 参加費)

4. 連絡先

〒981-0131 宮城県宮城郡利府町青山1-57-2(利府町総合体育館内)

TEL:080-3143-9977 FAX:022-356-3209